

「たしかに～しかし」 入門

名前：

点数： /6問

日付：

見つける → 指さす → 言いかえる → つなぐ → 書く

きょうのルール 「たしかにA。しかしB。」は、相手の言い分Aをいったん認めてから、自分の主張Bを述べる型。Bが主張だが、**Aを捨ててはいけない**。Aを認めたとえでのBだから、説得力が生まれる。

- ① たしかに便利な道具は作業を速くする。しかし、速さより正確さが大切な場面もある。

筆者の主張はどちらの文にありますか。

- ② たしかに失敗はつらい。しかし、失敗から学べることは多い。

筆者がいったん認めている内容を答えてみましょう。

- ③ 上の文を「失敗から学べることは多い。」とだけ要約しました。

この要約の物足りない点を答えてみましょう。

- ④ たしかに（ ）。しかし、朝ごはんを食べると午前中の集中力が上がる。

（ ）に入る内容として自然なものを選びましょう。 ア 朝は時間がなくていそがしい イ 朝ごはんはおいしい

- ⑤ 「ゲームは楽しい。だから何時間でもやってよい。」という意見に、「たしかに～しかし」で反論する一文を作りましょう。

(内容は自由)

- ⑥ 「たしかに～しかし」の文で、AとBの関係を選びましょう。

ア AとBは無関係 イ Aを認めたとえで、Bを主張している

No.030 「たしかに～しかし」 入門 | 解答・ポイント

- ① 後半（速さより正確さが大切な場面もある）
- ② 失敗はつらいということ。
- ③ 「失敗はつらい」といったん認めた部分（譲歩）が落ちている点。
ポイント 譲歩は主張の一部。捨てない。
- ④ ア
ポイント 譲歩には、主張と反対側の言い分が入る。
- ⑤ （例）たしかにゲームは楽しい。しかし、時間を決めないと生活のリズムがくずれてしまう。
- ⑥ イ

おうちの方・先生へ（丸つけの窓）

3番（前半を捨てた要約はなぜ×か）が核心です。「認めたうえで」という関係が言えれば十分です。

まちがえた問題は、「きょうのルール」にもどってもう一度。自分の答えが合っているか不安なときは、答案の写真を日本国語塾TOPまでお送りください。どこが良くて、どこで失点するのかを具体的にお伝えします。（無料相談：
nihonkokugojuku.com ※URLは公開時に確定）

制作：日本国語塾TOP（数強塾グループ／代表 藤原進之介） 制作担当：中村祥・山下翔平 ※「しょうちゃん式」は二人の“しょう”にちなんだ名前です
本紙の文章・設問・解答はすべて書き下ろしのオリジナルです。個人学習および学校・塾での授業利用（受講者への印刷配布を含む）を認めます。データの再配布・改変・販売・転載は禁止します。© 2026 数強塾グループ 日本国語塾TOP